

県外から帰省する若者が対象 PCR検査費用の一部を補助

健康推進課健康管理係 ☎575-1116

県外から帰省する若者がPCR検査等を受けた場合の費用を一部補助します。

●対象者

- ① 上記の①または②に該当し、県外に居住している人
- ② 高校生以上の学生
- ③ 平成12年4月2日～平成17年4月1日生まれ

●対象帰省期間

令和2年12月26日～令和3年3月31日（検査結果判明後の帰省が対象）

●対象費用

帰省前7日以内に新型コロナウイルスにかかると推定されるPCR検査および抗原定量検査を受け、結果が判明した検査の費用

●補助金額

上限額2万円（※検査費用が上限額に満たない場合はその検査費用の額）

●補助回数

1回

●申請期限

令和3年3月31日（必着）

※居住地の感染状況による行動自粛等の要請に従ってください。

■申請時の提出書類（4点全て）

- ① 伊達市若者帰省者新型コロナウイルス検査費用補助金交付申請書兼請求書（※健康推進課、市ホームページで入手可）
- ② 検査費用領収書の写し（検査内容の記載のあるもの）
- ③ 通帳等の写し（口座番号や口座名義人がわかるもの）
- ④ 学生証の写し※学生以外は生年月日が記載された証明書（免許証、被保険者証等）



申請書入手・電子申請

■提出方法（次のいずれか）

電子申請 / 持参 / 郵送

■提出先
健康推進課（保原保健センター）
〒960-0634
伊達市保原町大泉字大地内 100 番地

分庁舎を市民の憩いの場へ オープンスペースの愛称募集

総務課行政経営係 ☎575-1111

伊

達市役所旧分庁舎として利用していた梁川総合支所2階の一室を、図書や学習・ワーキングスペース、交流スペースとしてリニューアルします。

◆オープンスペースのコンセプト

- ◆ 駅前という好条件を活用し、人が集う場所
- ◆ 落ち着いた静かな環境での学習・図書スペース空間
- ◆ 気軽に集い、学び、語らえる場所

●応募点数

1人1点

●募集期間

1月6日～2月17日（※必着）

●応募方法

- ① 愛称 / ② 愛称の理由（300字以内） / ③ 郵便番号・住所 / ④ 氏名 / ⑤ 性別 / ⑥ 年齢 / ⑦ 電話番号 / ⑧ 職業または学校名を記入し、郵便・FAX・メールなどで応募してください。

●結果発表

市ホームページで3月下旬に発表します。

●応募先

総務課行政経営係（市役所東棟3階）
▼応募用紙ダウンロードはこちら↓



※オープンスペース内部のイメージ図

避難所のベッドや仕切りを支援 市と株福良梱包が協定締結

消防防災課防災企画係 ☎575-1197

災

害時の避難所設営について、段ボール製品を生産する株福良梱包と包括的連携に関する協定を結びました。

やプライバシーの確保など、心身のストレス軽減や安心につながると期待している。」と述べました。佐藤代表取締役は「被災者に寄り添いながら取り組みたい。」と述べました。



災害時の車両の移動で協力 市と株ナプアースが協定締結

消防防災課防災企画係 ☎575-1197

締

結式で須田市長は「迅速な撤去が被害拡大防止と早期復旧につながる。」と期待を表明しました。池本代表取締役は「東日本大震災の津波で被災した車両を引き上げた経験が

ある。迅速に撤去したい。」と述べました。

災害時は、協定に基づき障害物の撤去などの支援を仰ぎ、道路等の公共施設の被害防止や機能の確保に努めます。

新しい生活様式導入補助金 補助対象期間延長・補助対象品目拡大

商工観光課商工労政係 ☎573-5632

申請期間	3月15日(月)まで ※予算に達した時点で終了
補助対象期間	令和2年4月1日(火)～令和3年2月28日(土)

3

密の回避や人との接触の低減など、新しい生活様式に適応した事業形態を実施する市内中小企業者に対し、設備などの導入経費の一部を補助しています。受付期間を延長し、補助対象にアクリルパネル等を追加しましたのでご利用ください。

●対象者

市内に拠点のある中小企業者または個人事業主

●対象となる経費

感染防止策、ICTを活用した接触機会を減らす環境の整備、非対面型ビジネスモデルへの転換に要する経費

●補助額

補助率4分の3（上限額15万円）

●申請書

商工観光課、各総合支所、伊達市商工会（本所・支所）、保原町商工会で配布しています。

●申請方法

申請書類を揃えて商工観光課に郵送で提出してください。